



住民無視、税金の無駄遣い許されない：田中議員が反対討論

区議会第2回定期会は6月17日、議案や請願の表決を行ひ終了しました。

してきました玉川上水旧水路緑道再整備の4件目となる工事請負契約は、私の所属する総務委員会では否決されました、が、本会議で多数で可決されました。

なお、緑道再整備に住民の声を反映させようとする請願や民泊の規制を求める請願は、党区議団も紹介議員となつて採択に力を尽くしましたが、どちらも不採択となりました。

本契約は、玉川上水旧水路緑道再整備工事(その4)について、4億55738万円で工事請負契約を締結するもので、相生橋から美寿々橋に至る幡ヶ谷緑道と西原緑道の3200m<sup>2</sup>を対象にしています。玉川上水旧水路緑道再整備計画については、総額120億円もの税金を投入し、農園などを整

## 整備工事(その4)契約書 無駄遣い許されない

・・・田中議員が反対  
して、区民の声を聞くべきです。それまで工事契約を進めることは許されません。主人公である住民の声を切り捨て、憲法で保障された地方自治の本旨である住民自治を否定する暴挙であり絶対に認められません。

**第2の理由 舗装材やベンチ水飲みなどに使用するテラゾ材の選定が恣意的でありこれに反対する住民の声を聞かないこと**

テラゾ舗装材は、高額であることや環境負荷、耐久性など様々な点から住民が反対しており、その選定過程について明らかにするよう求めてきました。

この契約でテラゾ材は園路、ベンチなどに使用されています。園路舗装材は1m<sup>2</sup>13万9000円で4400円のインター一口ツキングの31.6倍です。テラゾ舗装は642m<sup>2</sup>8923万8000円、工事費を含めると総額1億8423万8000円と契約金額の4分の1を占めています。

テラゾのベンチは、市販の高額なベンチより13倍の1基244万円を5基で1220万円。車止め

論 1基30万8000円を11基、合計338万8000円です。同じく水飲みは、テラゾ製119万3500円ですが、市販の平均的な50万円前後の2倍以上。今回の契約のテラゾ製品の総額は、約2億102万円に及びます。

仮に、テラゾを使わず一般的な市販価格のものを採用した整備に比べて2億円近く高額となります。

また、住民や議会は、テラゾの選定根拠について明らかにするよう求めてきました。しかし、今定例会の総務委員会で示されたテラゾの選定理由は、これまで示してきた資料の耐久性などの客観的な点数とは無関係に、「緑道の「コンセプト、整備方針をもとに園路にふさわしい材料を選んだ」とのことでした。結局、区長が2・6kmの人造大理石の舗道を地域のシンボルにするために選んだのです。経済性を無視して高額なテラゾを選び、区民の見直しを求める声を切り捨てる姿勢は、到底認められません。

第3の理由 住民が反対している農園を整備し、町会に責任を押付けている」と

幡ヶ谷緑道と西原緑道にそれぞれ282mの「花壇」

園に対しても重大です。沿道住民から農園の不安や反対の声が出されるなかで、住民同士の話し合いで、農園をやりたいという人も緑道内でなくともよいとの方向で一致していました。こうした経過も無視し、前回の幡ヶ谷緑道でも果樹の森林農園を整備したことに、ちゃんと判が上がつていました。そのうえ今回農園を整備する」とは、住民の声を一重三重に踏みにじるものであり、認められません。

今回、農園について、「育てる作物は食用植物に限らない、地域（町会）と相談して決める」、花壇については「食用作物を作りたい」とは地域（町会）と相談して決める」としていますが、これでは公園整備の区の責任を放棄するものです。反対している沿道住民もいる町会と「相談」して決めるとなれば、町会の中に分断を持ち込むことになります。農園や花壇を押し付けることは絶対に許されません。